

# としょかんぽう

東北福祉大学図書館報

Tohoku Fukushi University Library News

No.1

TFUL News  
2005.July.

- 館報復刊によせて -

図書課長 石田 信孝

図書館報は、以前何度か計画され発刊までに大分時間がかかったようですが、1990年12月に第1号が「TFUL news」として創刊されました。

創刊後は順調に発行されてきたようですが、諸般の事情により第7号をもって休刊となりました。

今回、図書館として情報収集・発信という責務と利用者に対する熱い思いがあって、復刊として再スタートをすることになりました。

いまや情報というものは電子媒体化しているなかで、ペーパーでの情報は古いイメージがあるかも知れませんが、電子媒体では感じ取れない感性を感じてもらえたらいいなと思っています。

図書館情報をソフトな感じで提供し、図書館を利用する人のための案内の情報源として、未永く発行できればと願っております。

復刊とこれからの発行継続にあたり、日常業務の合間に編集する担当者に謝意を表します。

## 司書のフロムナード

詩人のエッセイ。エッセイだがそれはまさに“詩”そのもの。詩は、少ない言葉に想いをこめて詠うもの。そしてこのエッセイの中の言葉も一つひとつ丁寧に、大切におかれていて、一語たりとも無駄がない。リズムがあって、変に凝っておらず、素直な言葉で書かれていてやさしい読み心地。何気ない日常の光景をいとしく、色鮮やかに瑞々しく、そして、ふと現れる感情を鋭くかつ繊細に写し出している。

一度に読んでしまうのはなんだかもったいない。美味しいものをいただく時のように少しずつ味わって。そして2回、3回読み返すたびに著者の放つ“ことば”の奥行きが感じられ、“さすが詩人”と思わせる一冊。

(閲覧担当：稲妻 晶子)



蜂飼耳著  
『孔雀の羽の目がみてる』  
白水社、2004.9  
19cm, 198p / ¥1,995(税込)



おすすめの1冊



小川久恵、宮入照子献立・料理  
香川芳子、杉橋啓子監修  
『いまある材料でくふうする  
高齢者のためのクイックメニュー』  
女子栄養大学出版部、2004.9  
21cm、119p / ¥1,260(税込)

所在：498.59 || オカ  
学生用開架コーナー

福祉大の図書館に料理本があるのを知っていますか？もちろん、一般的な料理本ではありませんが・・・。

仕事に、また個人の生活においても役立つ、高齢者向け・幼児向けなどのクッキングブックです。

そのうちのひとつがこの本です。「ホームヘルパーお料理サポートシリーズ」として刊行されており、本学図書館では現在まで所蔵しています。

写真付きで紹介された数々の料理は、高齢者の健康と状態を考えた“ヘルシー”で“食べやすく”、そして“おいしい”を重視したものばかり。一見とても手が込んでいるようなメニューが、簡単に揃えられる材料で、手軽に出来るようにアレンジしてあります。

楽しくおいしく介護する。そんな日常を提案した料理本です。  
(受入担当：熊谷 幸)



図書館利用シリーズ 1

## 図書館 Q & A

Q: 利用したい図書が貸出中でした。その図書が返却されたらすぐに利用したいのですが、どうすればよいのでしょうか？

A: 「予約」のシステムがあります。

借りたい図書が貸出中だった場合、3F カウンターに置いてある「図書予約票」に必要事項を記入し、カウンター係員に申し出てください。その際、書名・著者名・(資料)登録番号が必要になりますので、予めOPAC 検索で確認してから手続きしてください。

図書が返却され次第、図書館入口正面の掲示板でお知らせします。予約者は、掲示された紙を持ってカウンターで貸出手続きをしてください。

Q: 借りている図書の返却期限日が迫っているのですが、もう少し借りることはできますか？

A: 借りている図書を予約している人がいなければ、貸出を延長することができます。延長したい図書と学生証を持って、3F カウンターに申し出てください。



# ス タ ッ フ 紹 介

大島です。司書歴が長く、年も一番上。カウンターで注意ばかりしているので、ガミガミおばさんにならないよう自戒(?)しています。

平野です。図書館では最も寡黙(?)で、体型とは逆に目立たない存在。何番目かに親切だと思いますが、「気持」が一番を目指しています。

稲妻です。福祉大学の図書館にあなたの探している資料がなくてもあきらめないで！世界中の図書館はつながっていて、協力しあっているんです。文献複写、現物貸借担当です。

雑誌を担当しているヒゲの後藤です。雑誌の選定～製本される迄の仕事をしています。図書館内で黒ヒゲを見たら、それは私かも??

五十嵐です。図書館には、さまざまな雑誌があります。興味がある雑誌もあるかもしれませんので、図書館にぜひ来て下さいね。

中塚です。皆さんの学習や研究に役立つ資料を必死で扱っています。もっと図書館に来て下さい。

圖書の発注・受入担当3年目の熊谷です。エプロンをして事務室をウロウロしているのが私です。

勝部です。圖書をコンピュータで探せるように、データを入力する仕事をもっぱらしています。

目録三年目の八巻です。『司書』という名に恥じぬよう邁進(まいしん)します!! 最近は辞書類と仲良しです。

## 貸出の多い本



### 学関本・書庫本

1. 新信尺アヴェロンの野生児 / J.M.G.イタル著/福村出版
2. 福祉心理学を愉しむ / 宮原和子、宮原英種著/ナカニシヤ出版
3. 社会福祉の歴史 / 高島進著/ミネルヴァ書房/1995
4. 障害者の心理と支援 / 田中農夫男ほか編著/福村出版
5. 遊びリテーション学 / 三好春樹ほか著/雲母書房/1999

### ベストセラー

1. 蛇にピアス / 金原ひとみ著/集英社/2004
2. 世界の中心で、愛をさけぶ / 片桐義著/小学館2001
3. インストール / 綿矢りさ著/河出書房新社/2001
4. 天国の本屋 / 松久淳、田中渉著/かまくら春秋社/2000
5. 蹴りたい背中 / 綿矢りさ著/河出書房新社/2003

平成 16 年度統計

## 図書館日記

-カウンターでの1コマ-

「貸出ですか?返却ですか?」これはカウンターでの日常の会話である。こちらから声を掛けられるのを待っているのだらう。最近の学生はコミュニケーション不足だと言われているが、学生に限ったことでもないし、それが全ての学生にあてはまるわけでもない。

ある女子学生は、図書館に来るのに“勇気”が必要だと言う。「勇気!?’そんなに図書館が恐いの?(心の中で)。理由を聞いてみると、図書館の出口には、きまりを守らないとブザーが鳴る盗難防止装置があり、その学生は幾度もブザーが鳴った経験があるという。これは携帯などの金属にも反応するため、毎回この装置が反応する人にとっては、かなりの恐怖スポットかも。学生は、バックを替え、今度はアクセサリを外して来ると言う。「外さなくていいから図書館を利用してね。一言、カウンターに言ってくれば出口開けますから。」と話す、笑顔で礼を言いながら帰っていった。

後日、図書館で彼女の姿を見えます嬉しくなった。ほんの一言で、お互いの気持ちを通じ合う - こんなにも嬉しいことはないと思った。

## 図書館からのお知らせ

10月18日(火)に、雑誌論文検索ガイダンスを開催します。定員は10名です。検索方法の説明と、図書館内を案内するツアーを行っています。普段入ることのできない書庫も案内しますので、興味のある方はぜひ参加してください。ゼミ単位または個人でも受け付けています。

参加ご希望の方は、どちらも3Fカウンターで申し込んでください。

## 編集後記

としょかんぼう創刊号は、いかがでしたでしょうか。皆さんに図書館の理解を深めていただきたいと思います。発行に至りました。

としょかんぼうに関するご意見・ご感想などありましたら、図書館までお寄せください。

石川・八巻・稲妻・熊谷